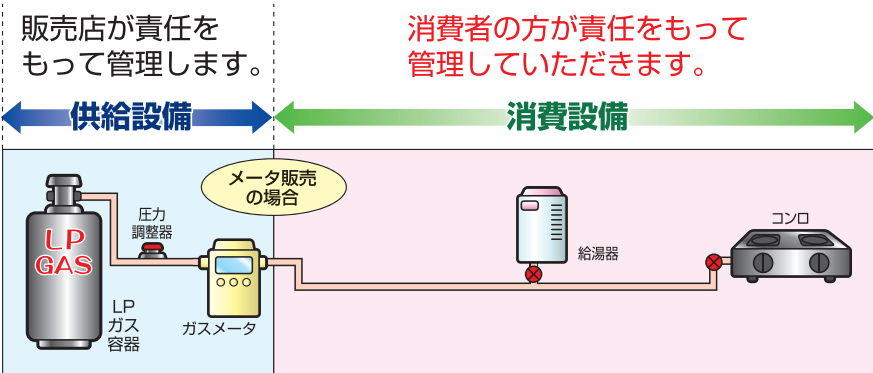


日頃の安全点検は、ご自身の手で行って下さい。



- 供給設備とは
容器からガスメーターまでの設備のことです。
- 消費設備とは
ガスメーターの出口から燃焼器（ガス器具）に至るまでの設備のことです。

私たちアイエスガステム株式会社では、保安機関として認定を受けたLPガス販売店として、液化石油ガス法に基づき、次のような点検・調査を行います。

容器交換のつど	LPガス容器・調整器・容器バルブ・供給設備などの外観点検。
1年に1回以上	地下室等の配管からのガス漏れ調査など。
4年に1回以上	調整器の機能点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備の調査など、LPガス設備全般についての点検・調査。

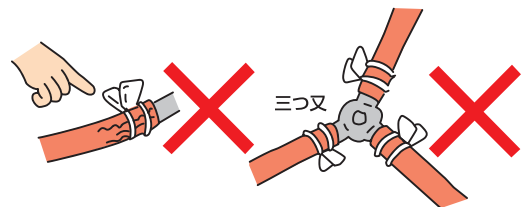
※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などにご協力下さい。

ガス器具の近くに、燃えやすいものは置かないで下さい。

- ・着火時には点火の確認をして下さい。
- ・風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火が着くことがあります。大変危険です。LPガス使用中は、その場を離れないようにして下さい。
- ・ゴム管は、なるべく短くし、折り曲げたり、物かけを通したりしないで下さい。

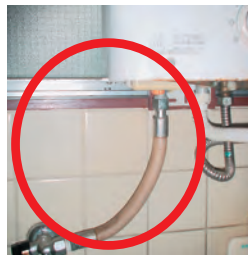
！LPガス事故をなくすために

ゴム管はときどきチェックして、早目に交換しましょう。



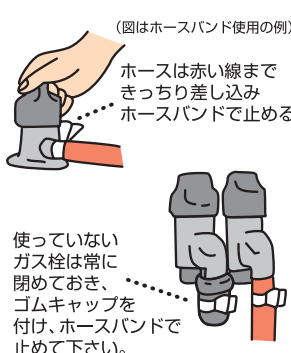
- ※ひび割れの場合は使用しないで下さい。
- ※三つ又は絶対に使わないで下さい。
- ※ゴム管のガス漏れ点検は、筆に石鹼水を含ませてゴム管に塗って泡が出るか調べて下さい。泡が出た場合は、ただちにゴム管を交換して下さい。

固定式燃焼器（ガス器具）はねじ接続用ホースを利用して下さい。

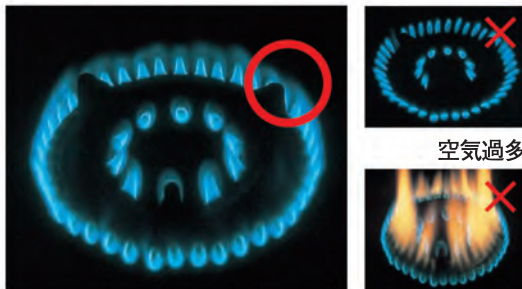


ガス漏れ防止のため、湯沸器や風呂釜などの固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。上記のようなねじ接続用の専用ホースで接続して下さい。

ガス栓は全開で使用し、使用後は完全に閉めて下さい。



ガスの炎は青い炎でご使用下さい。赤っぽい炎は、不完全燃焼しています



小型容器の取り扱い（卓上コンロ用カセットボンベは除く）

- 容器が倒れないように平らな場所に置いて下さい。
- 不要になった容器は必ず販売店に返却して下さい。
- 直射日光や火気のないところに置いて下さい。
- 容器は、横に寝かせて使用しないで下さい。
- 容器は、風通しのよい場所に保存して下さい。
- 使用後は、必ず容器バルブを閉めて下さい。

ガス器具の手入れ



- ※ガスコンロの目詰りは器具ブラシ等で、ときどき掃除して下さい。
- ※ネジなどを取外す必要がある場合は、必ず表面の営業所・サービス課に連絡して下さい。

ガス栓・器具栓はうっかりが禁物

- お休み前やお出かけになるときは、必ずガス栓や器具が閉まっていることを確認して下さい。
- マッチを使用する場合、先にマッチに火をつけてからガス栓を開いて点火して下さい。

●LPガス専用の器具をご使用下さい。都市ガスの器具は使用できません。



家庭用周知文書

LPガスをご家庭でご使用のお客様へ



ご存知ですか？LPガスにはこのような性質があります。

- 1 空気よりも重い**
LPガスは空気よりも重く、漏れると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスが漏れたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。
- 2 ニオイをつけてある**
LPガスそのものは無色・無臭ですが、漏れた時に分かるようにタマネギが腐ったようなニオイをつけてあります。
- 3 燃焼にはたくさんの空気が必要**
LPガスが燃焼する為にはたくさんの空気（酸素）が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をして下さい。
- 4 クリーンなガス**
LPガスは、環境負荷が化石燃料の中でも相対的に小さく、天然ガスとともにクリーンなエネルギーであると位置づけられています。（ただし、換気不足で不完全燃焼を起こすとCO（一酸化炭素）が発生する危険性があります。）
- 5 液体になりやすい**
LPガスは圧力をかけると容易に液化するので、液化した状態でLPガス容器（ボンベ）に入っています。

このパンフレットは、**液化石油ガス法に基づきお届けするものです。**

■販売店 **アイエスガステム株式会社**

■住所

■電話番号

■FAX番号

■緊急時の連絡先 **アイエスガステム株式会社**
047(429)1234 (365日 24時間受付)

ご家庭の皆さままでご覧下さい。

みんなで止めよう温暖化 チームマイナス6%

私たちアイエスガステム株式会社は、チームマイナス6%に参加しております。

災害時の対策は・・・

火災の時は

容器バルブを閉めて、消防署員などに容器の位置を知らせて下さい。



地震の時は

火を全部消し、ガス栓、器具栓を全て閉め、二次災害防止の為、ゆれが大きかった時は、おさまった後で容器バルブも閉めて下さい。



洪水の時は

容器バルブを閉め、倒れたり、流されたりしないようにロープなどで容器を固定して下さい。



容器バルブの閉め方

時計と同じ右回しです。



災害に強いLPガス

近年、各地で地震などの大規模な災害が続いています。どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。LPガスは復旧の早さや避難所などですぐに対応出来ることなどから、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。その実績からさまざまところで、LPガスは災害に強いことが実証されています。

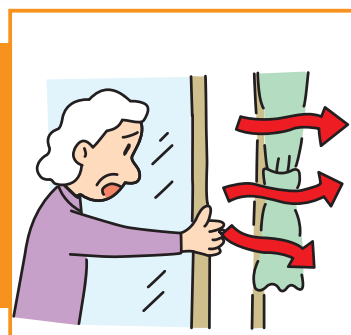
もしもガスが漏れたら(ガスのニオイに気づいたら ガス漏れ警報器が鳴ったら)



室内の火は全部消します。



ガス栓・器具栓を閉めます。



窓や戸を大きく開け、新鮮な空気を



表面の営業所・サービス課に連絡し、点検を受けるまではガスを使用しないで下さい。

絶対にいけないこと



コンセントや電気のスイッチにさわらないで下さい。

換気扇は絶対に回さないで下さい。また、回っている換気扇はそのままにしないで下さい。

ただちにご連絡を

休日・夜間に限らず緊急の場合は表紙の連絡先へご連絡下さい。

1. あなたのお名前
2. ガス漏れなどの状況
3. 電話番号
4. ご住所
5. お近くの目標

こんなときは アイエスガシステム株式会社 (表紙の営業所・サービス課) にご連絡下さい。

- ◆ LPガス設備の工事や新しくガス器具を取り付けるとき、または取り外すとき。
 - ◆ 新築・改築・転居などで新しくLPガスを使うとき、またはやめるとき。
 - ◆ ガス以外の工事(水道工事・増改築など)を行うとき。
 - ◆ ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取り外しが困難なとき。
 - ◆ 風呂がま及び大型湯沸器等固定式燃焼器の変更及び修理工事は、自らで行わないで下さい。
- ※ LPガス配管系統の変更は弊社と十分連絡を取りながら実施して下さい。



集中団地供給のお客様へ ★ご近所でこんな工事を見かけたら、是非お知らせ下さい

工事がガス漏れの原因になることも・・・

- 掘りおこし、埋め戻し、その他工事の内容によって、埋設してあるガス管をいためたり、異常な重みでガス管が破損してしまう場合があります。
- ガス漏れ！は、周辺の多数の方々大変なご迷惑とご不便をおかけすることになります。

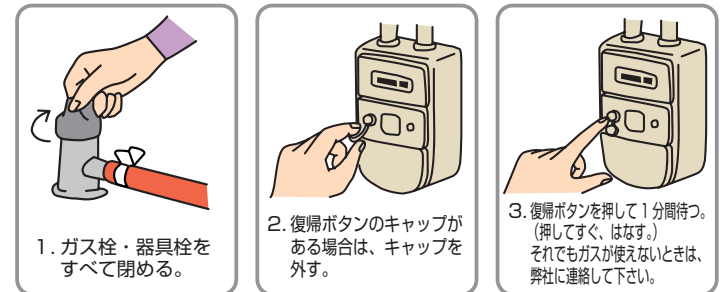
安心を支えるセーフティ機器

■マイコンメーター

ガス漏れなどLPガスの流れに異常があると、ガスメーターに内蔵されたマイコンと遮断弁が動き、ガスを遮断します。マイコンメーターは大きな地震の時(震度5相当以上)にはガスを止めるなど、保安機能がさらに充実しています。弊社ではマイコンメーターの設置を基本としております。

■マイコンメーターの復帰方法

マイコンメーターがガスを遮断した後、自分でできる復帰方法

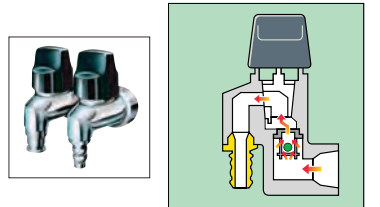


※ガス栓や器具栓を閉めた状態で、復帰ボタンを押した後、ガスもれがないかどうかをマイコンメーターが1~2分間、安全確認をしています。異常がなければ、赤いランプ(または液晶のアルファベット)の点滅が消え、ガスは元通りご使用になれます。(なお、正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は表面の営業所又はサービス課にご連絡下さい。)

ガス漏れや一酸化炭素(CO)中毒による事故を未然に防ぐためにガス漏れ警報器・CO警報器を設置しましょう。

■ヒューズガス栓

ゴム管が外れて、ガスの流量が多くなると自動的にガスが止まる安全なガス栓です。

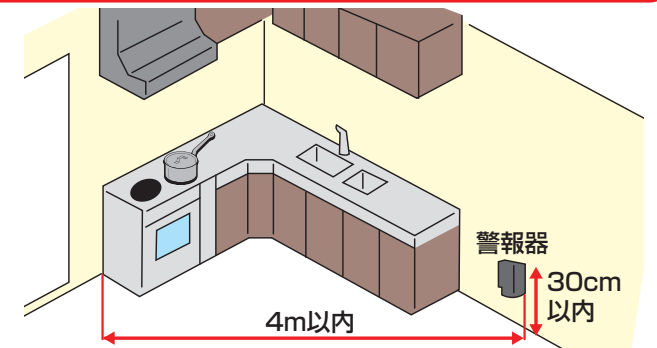


■ガス漏れ警報器

- ガス漏れ警報器があると万が一のガス漏れの際、警報ランプとブザーでお知らせしますので安心です。
- 有効期限内のものを使用して下さい。



警報器が適切な位置に設置されているかを確認しましょう

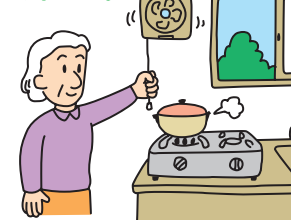


- 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。
- 警報器のまわりにものを置かないようにしましょう。
- 警報器が交換期間内のものかを確認しましょう。

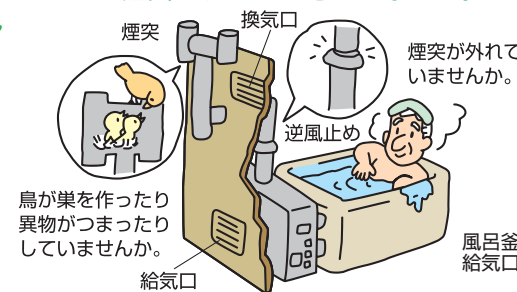
換気に充分注意して下さい

LPガスが燃えるためには、たくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われないと、酸素不足や室内に排ガスが充満して不完全燃焼を起こし、有害なCO(一酸化炭素)が発生し、死亡事故に至る恐れがあります。大変危険ですので、十分な換気をして下さい。

ガス器具を使用するときは換気扇をまわすか窓を開けたりして必ず換気をして下さい。



煙突のチェックをして下さい。



鳥が巣を作ったり異物がつまったりしていませんか。

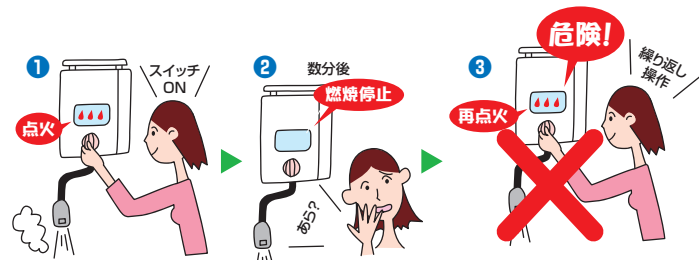
- ★ 自然給排気式の風呂釜を使用するときは、換気扇を使用しないで下さい。(排ガスが逆流してCO(一酸化炭素)中毒を起こすことがあります)
- ※ 給気口は絶対にふさがらないで下さい。
- ★ 弊社では、屋外給湯器(給湯付き風呂釜)をおすすめしております。

風呂釜及び大型湯沸器の設置場所には、給気口や排気設備を設けましょう。

小型湯沸器のご使用上の注意

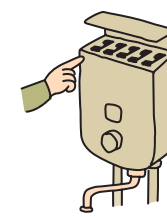
火が消えたときは、ただちにご使用を中止して下さい。

一酸化炭素が発生している可能性があります。再点火して繰り返し使用すると、一酸化炭素中毒事故にいたる恐れがあります。



★ 小型湯沸器は長時間使用しないで下さい。安全装置が作動するのは、長時間使用で酸欠状態になったときや、経年劣化による熱交換器の詰まりです。

- ★ ととき小型湯沸器のフィン(換気部)の目づまりをチェックして下さい。



※ フィンの点検などは表面の営業所又はサービス課にご相談下さい。

■ガス小型湯沸器のお湯を他へ給湯することは危険です。

ガス小型湯沸器のお湯を、お風呂や洗濯機への給湯やシャワーとしてご使用になるのは、不完全燃焼を起しやすく危険です。絶対におやめ下さい。

